

特集

在宅
フィジカルアセスメント

四六時中は患者さんをモニターしてはいられないのが訪問看護の特徴です。週に何度か、月に何度かのフィジカルアセスメントを通して、患者さん・ご家族の「安全」「安心」を担保しなければなりません。では、患者さんの状態に応じ、どんなところに目をつけたらいいのか？ 状態別の「私の視点」に加えて、山内豊明医師のポイントアドバイスつき！

「訪問看護」ならではの
フィジカルアセスメントとは？

●山内豊明

私の視点

①寝たきり・低ADL ●馬籠さとみ

「左右差」に注目して、家族とともに

②経管栄養 ●大澤智恵子

「経鼻栄養」「胃ろう」の有害事象を防ぐ

③人工呼吸 ●原田典子

「肺実質の異常」と「器械トラブル」をどう見極めるか

④終末期 ●吉井朋代

「臨死期」を見極め、経過に応じたケアを最期まで

特別記事

千葉県における地域連携型人材育成
「新卒訪問看護師教育プログラム」続報

●長江弘子ほか

INTERVIEW ケアする人々

松平浩さん(関東労災病院勤労者筋骨格系疾患研究センター長)

編集後記

表紙のスナップは、昨年末の宮城県名取市、津波で壊滅的被害を受けた閼上港近辺。密集した住宅地だったはずのところが荒野原に……。それでも震災2か月後に訪れたときとは大違い。無尽蔵に折り重なっていた家や車や船、瓦礫や樹木は撤去され、盛り土をしての整地が進んでいました。閼上中の時計は今も「14時46分」を指したままでしたが、確実に時が刻まれていることを本特集は物語っています。特集記事に通底して感じられたのは、まずステーションどうしの、そしてステーションを越えたつながりの大切さ。それは、単に心励ましてくれるだけのものではありません。巻頭座談会では全国レベルでつながるシステムへの指摘も。「私は看護師である」。その自負の重みを感じた巻頭＋特集でもありました。…杉本

震災後間もない2011年3月29日、長居スタジアムでサッカーのチャリティマッチが行なわれました。世間に広がる「自粛ムード」のなか、開催への批判も少なからずあったと思います。カズこと三浦知良選手は、試合前の3月25日付けの日本経済新聞のコラムにこう書きました。「とても明るく生きていける状況じゃないけど、何か明るい材料がなければ生きていけない。サッカー人として、被災地に明るさを届けたい。僕は当日、全力で、必死に、真剣にプレーすることを誓う」サッカーは明るさを、医療者は安心と健康を、われわれ雑誌は情報を。役割は違えど、支援の第一歩は各々ができることを精一杯やること。そして、それを継続していくことなのだ、と、本号の制作を通して改めて感じました。…多淵

訪問看護と介護 第18巻 第3号(通巻201号) 2013年3月15日発行(毎月1回15日発行)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2013, Printed in Japan

1部定価：1,365円(本体1,300円＋税5%) 年間購読料(税込、送料弊社負担、年間12冊)：13,200円(冊子版)/

16,200円(冊子＋電子版/個人)/18,200円(冊子＋電子版/共有)/13,200円(電子版/個人)/15,200円(電子版/共有)

販売部：☎03-3817-5659 社内案内：☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当：多淵・杉本・伊藤

✉ houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter http://www.twitter.com/houmonkango

医学書院ホームページ http://www.igaku-shoin.co.jp/ ウェブマガジン『かんかん!』 http://www.igs-kankan.com

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複製、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。

大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構

(☎03-3513-6969, FAX03-3513-6979, ✉ info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。